

令和3年度11月例会報告

- 日時 令和3年11月24日(水)
- テーマ 秋の里山を歩く
- 集合 新京成くぬぎ山駅
- 集合時間 9時20分
- 参加者 30名
- 距離 15キロ
- 解散 15時(新京成くぬぎ山駅)
- 案内役 リーダー:河合 清吉、サブリーダー:永吉 信行、辻 諭
- コース ①新京成くぬぎ山駅⇒②串崎公園(休憩・WC)⇒北総線・松飛台駅⇒③東部スポーツパーク(休憩・WC)⇒武蔵野線・市川大野駅⇒④万葉植物園(昼食・散策)⇒⑤禮(れい)林寺⇒⑥駒形神社(休憩・WC)⇒⑦大町自然公園(もみじ山)⇒鑑賞植物園(休憩・WC)⇒北総・大町駅⇒⑧新京成くぬぎ山駅(解散)

今年の紅葉は？

11月例会は、恒例の紅葉を巡るコースですが、天候にも恵まれ、30名の皆さんが参加してくれました。歩こう会としては、久々の30人超えです。

くぬぎ山のコースは3回目になりますが、その年によって紅葉の時期は異なり、はたして今年は、どんな紅葉が見られるのでしょうか？

集合は、新京成くぬぎ山駅。コンビニが1軒あるだけの寂しい駅前ですが、新京成の本社があり、その前を通って、くぬぎ山公園まで行き、そこで朝礼実施です。

リーダーの河合さんからコース説明がありましたが、毎年、紅葉を巡るコースは河合さんにお世話になっています。

毎回、ありがとうございます。

万葉集に詠まれた植物がいっぱいの「万葉植物園」

北総線沿いに歩き、鎌ヶ谷市から松戸市を抜け、市川市に入ると、目指す昼食場所である「万葉植物園」が見えてきました。大野緑地内にある和風庭園風の「万葉植物園」は本来、園内での飲食は禁止なのですが、管理人の方に特別許可をいただき、植物を鑑賞しながらのお昼となりました。

園内にはせせらぎ・池・東屋・藤棚・石灯笼・つくばい等が配置されていて、色づき始めた植物などもあり、四季折々の花が楽しめます。

197種あるといわれている植物には、『万葉集』に詠まれた当時の名前の「万葉名」、詠まれた歌と詠み人などの説明板がついています。市川市は万葉集にゆかりの深い土地だそうですが、万葉集に興味のある方にとっては、まさに魅力満載の場所と言えるでしょう。

大町公園のもみじ山

昼食後、禮林寺、駒形大神社を経て、いよいよ、本日のメインである大町自然公園に到着しました。あまり知られていませんが、ここは知る人ぞ知る紅葉の名所なのです。

公園の中に、「もみじ山」があるのですが、今年は、11月20日(土)から12月12日(日)までが開放日となっています。つまりこの期間が紅葉の見頃というわけです。

小高い山になっていて階段を登りきると、そこは一面、500本の紅葉の山になっています。ほとんどがイロハモミジです。残念ながら、全体的な色づき具合はまだまだ2分から3分といったところでしょうか。

歩を進めていくと日当たりのいい場所は一部紅葉しています。ただ、紅葉初めのみずみずしい緑の葉もそれはそれで美しく、清々しい気分になります。

集合写真の絶景スポットを探していると、ありました！ ありました！

奥の方に行くと、赤く染まった紅葉が見事です。早速、集合写真を撮りました。ホームページトップの写真が

それ。

どうです？ 見事な紅葉の中での写真でしょう。来た甲斐がありました。

階段を下りていくと小さな池がありました。紅葉の最盛期には、水面に落ちる深紅の葉と枝の葉のコントラストがきっと綺麗でしょうね。

自然観察園から鑑賞植物園へ

もみじ山を抜けると自然観察園にあたりますが、湿地に渡された道は、尾瀬の湿原を歩いているような気分になることもでき、ちょっと楽しい。

歩いた先に、最後の立ち寄りスポットである「市川鑑賞植物園」があるのですが、入り口付近の紅葉はかなり色づいており、見事でした。

鑑賞植物園は、サボテン温室、大温室があり、約 170 種類のサボテンと約 240 種以上の熱帯、亜熱帯植物を年間通して見ることができますが、なんと無料です。「万葉植物園」も「もみじ山」も無料でしたが、さすが市川市さん、ありがとうございます！

巨大なサボテンやバナナ、カカオなどの木を間近で見ることができ、つかの間の南国気分を味わえてちょっとお得な気分でした。

お疲れ様でした

今回は、鎌ヶ谷市から松戸市、市川市を通る約15キロのコースでしたが、平坦な道が多く、歩きやすく、所々の観光スポットを楽しみながらのあつという間の1日でした。

期待の紅葉は色づき始めといったところでしたが、もみじ山では絶好の写真スポットに巡り合うこともでき、満足できるウォーキングとなりました。

次月は、いよいよ年末納めの恒例、成田山へのウォーキングです。また、元気にお会いしましょう！！

(報告 伊香賀)

